

2016 年度 立命館大学大学院育英奨学金 募集要項(春期・秋期)

(育英 A・B 奨学金、後期課程進学奨励奨学金)

はじめに

大学院育英奨学金は、本学大学院の修士課程、博士課程前期課程または一貫制博士課程（1 年次入学）の第 3・4 セメスター（在学セメスターのみカウントし、休学した期間は在学セメスターに含まない。以下同様）に相当する期間の奨学金であり、申請に基づき、選考を行ったうえで給付を決定します。これは、優秀な大学院学生を育英し、学修および研究を奨励することを目的としたものです。

奨学金の種類は、1 回生時の学修・研究活動、今後のキャリアを見据えた学修・研究計画を評価する **育英 A・B 奨学金** と、博士課程後期課程（または一貫制博士課程 3 年次、4 年制博士課程）への進学希望者で優秀な者に給付する **後期課程進学奨励奨学金** の 3 種類からなります。

大学院育英奨学金の支給を希望する人は、この募集要項にもとづき申請を行ってください。

なお、大学院博士課程前期課程、修士課程、一貫制博士課程（1・2 年次）の授業料は、2017 年度に減額を行い、2016 年度以前の入学者にも適用します。2017 年 4 月以降の新授業料が 2016 年度までの授業料に比べて低額になることに伴い、本奨学金の給付額が変更になります。詳細は、1. 奨学金の種類・金額と給付枠（2）2017 年度以降に給付する場合をご参照ください。

1. 奨学金の種類・金額と給付枠

（1）2016 年度に給付する場合：

- ・ 2016 年度春期募集採用者の第 3 セメスター・第 4 セメスター給付分
- ・ 2016 年度秋期募集採用者の第 3 セメスター給付分

奨学金	所属研究科	金額 (セメスター毎)	給付枠
育英 A 奨学金	法学、経済学、経営学、社会学	20 万円	在学者の 20%以内
	国際関係、政策科学、公務、先端総合学術	24 万円	
	文学、応用人間科学、言語教育情報	23 万円	
	映像	45 万円	
	スポーツ健康科学	25 万円	
	理工学、情報理工学、生命科学、 テクノロジー・マネジメント	37.5 万円	

奨学金	所属研究科	金額 (セメスター毎)	給付枠
育英 B 奨学金	法学、経済学、経営学、社会学	10 万円	在学者の 25%以内
	国際関係、政策科学、公務、先端総合学術	12 万円	
	文学、応用人間科学、言語教育情報	11.5 万円	
	スポーツ健康科学	12.5 万円	
	映像	18 万円	在学者の 20%以内
	理工学、情報理工学、生命科学、 テクノロジー・マネジメント	15 万円	
後期課程 進学奨励 奨学金	全研究科	所属研究科の 2 年次 の学費(半期分) から 25 万円を差引いた 額(実質学費負担額 が 25 万円となる額)	後期課程をもつ研究科の 前期課程または一貫制博 士課程の 2 年次第 3 セメ スター在学者数に他研究 科からの申請者を加えた 数の 5%*

*薬学研究科進学希望の場合は他研究科からの申請者の 5%

(2) 2017 年度以降に給付する場合：

- ・ 2016 年度春期募集の採用者で休学等で 2016 年度内に給付が完了しなかった場合の給付分
- ・ 2016 年度秋期募集採用者の第 4 セメスター給付分

2017 年 4 月以降の本奨学金の給付額は変更になりますが、そのことによって、2016 年度の実質的な授業料負担額よりも、2017 年度以降の実質的な授業料負担額が増えることのないように、以下のとおりの対応とします。

ア：2016 年度育英奨学金 育英 A の採用者（下表のアに該当）

「2016 年度の授業料から育英 A の給付額を差し引いた額」と 2017 年度以降の新授業料を比較し、新授業料の方が高くなる場合に、その差額を奨学金として給付する。

イ：2016 年度育英奨学金 育英 B の採用者

2017 年度以降の新授業料は「2016 年度の授業料から育英 B の給付額を差し引いた額」よりも低額となるため、奨学金の給付は行わない。

ウ：2016 年度育英奨学金 後期課程進学奨励の採用者（下表のウに該当）

「2016 年度の授業料から後期課程進学奨励の給付額を差し引いた額」と 2017 年度以降の新授業料を比較し、新授業料の方が高くなる場合に、その差額を奨学金として給付する。

例：2015 年 9 月法学研究科に入学

2016 年第 3 セメスター時に秋期募集で育英 A に採用された場合

第 3 セメスター（2016 年 9 月～2017 年 3 月）の奨学金給付金額は（１）2016 年度に給付する場合の表に基づき、200,000 円

第 4 セメスター（2017 年 4 月～2017 年 9 月）の奨学金給付金額は（２）2017 年度以降に給付する場合の表に基づき、104,000 円

研究科	育英A採用者の金額 (ア)	後期課程進学奨励採用者の金額 (ウ)
法学研究科	104,000円	125,000円
経済学研究科(Master's Program in Economic Developmentを除く)	104,000円	125,000円
経済学研究科(Master's Program in Economic Development)	179,000円	200,000円
経営学研究科	104,000円	125,000円
社会学研究科	104,000円	125,000円
文学研究科（人文学専攻）	63,000円	125,000円
文学研究科（行動文化情報学専攻）	63,200円	135,600円
理工学研究科（基礎理工学専攻数理科学コースを除く）	176,000円	325,000円
理工学研究科（基礎理工学専攻数理科学コース）	138,500円	287,500円
国際関係研究科（Global Cooperation Programを除く）	50,000円	125,000円
国際関係研究科（Global Cooperation Program）	125,000円	200,000円
政策科学研究科	50,000円	125,000円
応用人間科学研究科	87,500円	175,000円
言語教育情報研究科	88,000円	150,000円
テクノロジー・マネジメント研究科	219,000円	333,000円
公務研究科	75,000円	150,000円
スポーツ健康科学研究科	86,000円	175,000円
映像研究科	152,900円	352,400円
情報理工学研究科	169,600円	318,600円
生命科学研究科	169,600円	318,600円
先端総合学術研究科	75,000円	150,000円

2. 申請資格

次の（１）または（２）の資格を満たす者。後期課程進学奨励奨学金に申請する場合は、本学大学院の博士課程後期課程、一貫制博士課程３年次または４年制博士課程に入学を希望していること。

春 期 募 集	（１）2016年４月１日現在、本学大学院修士課程、博士課程前期課程の第３セメスター（在学セメスターのみカウント）に在学する者 （２）2016年４月１日現在、本学一貫制博士課程の第３セメスター（在学セメスターのみカウント）に在学する者（３年次転入学者を除く）
秋 期 募 集	（１）2016年１０月１日現在、本学大学院修士課程、博士課程前期課程の第３セメスター（在学セメスターのみカウント）に在学する者 （２）2016年１０月１日現在、本学一貫制博士課程の第３セメスター（在学セメスターのみカウント）に在学する者（３年次転入学者を除く）

【以下に示す者は本奨学金の対象とならない】

- （１）第３セメスター休学者。採用決定後に休学した場合は、受給資格を失う。
- （２）国費外国人留学生およびこれに準ずる奨学資金を得て入学した者
（本学に授業料を納付していない留学生）
- （３）外国の大学との協定に基づく外国人留学生で、本学に授業料を納付していない者
- （４）本学私費外国人留学生特別奨励生授業料減免（院生Ⅰ種）を受給している者
- （５）併給不可の取り決めがある奨学金等を受給している者
（文部科学省奨学金・外国政府奨学金・アジア開発銀行奨学金・世界銀行奨学金等の受給者を含む）

【申請にあたっての注意事項】

- ※ 育英Ａ・Ｂ奨学金と後期課程進学奨励奨学金は別個に申請しなければならない。育英Ａ・Ｂ奨学金と後期課程進学奨励奨学金の重複申請を妨げない。ただし、育英Ａ・Ｂ奨学金と後期課程進学奨励奨学金を同時に受給することはできない。申請にもとづき選考を行い、「採用」（育英Ａ・Ｂ奨学金または後期課程進学奨励奨学金のいずれか）もしくは「不採用」を決定する。
- ※ 育英Ａ・Ｂ奨学金にあつては、奨学金の種類を指定して申請することはできない。
- ※ 情報理工学研究科とテクノロジー・マネジメント研究科とのジョイント・ディグリー制度による２年次転学者、理工学研究科および生命科学研究科からテクノロジー・マネジメント研究科への２年次転入学者も申請することができる。修了した研究科で大学院特別育英奨学金（旧制度）を給付していた場合であっても、転入後の研究科において選考基準を満たす者については、再度給付することを妨げない。
- ※ 本奨学金は学外の奨学金との併給を妨げないが、学外奨学金等の応募条件に他奨学金との併給禁止の定めがないか確認のうえ、申請すること。

3. 給付期間

第3・4セメスター（在学セメスターのみカウント）に相当する期間の1年間。

4. 申請方法

(1) 期間

春期募集	2016年3月28日（月）～4月8日（金）＜午後5時締め切り＞
秋期募集	2016年9月26日（月）～10月3日（月）＜午後5時締め切り＞

(2) 申請書類等

区分	申請書類
育英A・B奨学金	研究科別に指定する。別表1（p.7）参照
後期課程進学奨励奨学金	所定の申請書 2部（原本1部、コピー1部） 以下のホームページからダウンロードすること。 http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/fellow/

(3) 提出先

区分	提出先
育英A・B奨学金	所属研究科の事務室、別表4（p.18）参照
後期課程進学奨励奨学金	衣笠キャンパス： 大学院課（至徳館2階） びわこ・くさつキャンパス： 大学院課（アドセミナリオ1階） 大阪いばらきキャンパス： 学びステーション （A棟1階AC事務室） 朱雀キャンパス： 朱雀独立研究科事務室

5. 選考方法および選考基準

区分	選考方法	選考基準
育英A・B奨学金	書類選考とし、必要に応じて面接も課す。 ただし、理工学研究科にあっては、書類選考のみとする。	研究科別に指定する。 別表2（p.11）参照
後期課程進学奨励奨学金	書類選考とし、必要に応じて面接も課す。	進学希望研究科の後期課程または一貫制博士課程の教育研究上の目的（人材育成目的）に照らして選考する。 別表3（p.14）参照

6. 選考結果の発表

春期募集	選考結果は 5月24日（火）に、郵送にて通知を発送する
------	-----------------------------

秋期募集	選考結果は 11 月 15 日（火）に、郵送にて通知を発送する
------	---------------------------------

7. 給付方法

奨学金採用者には、所定の給付手続き完了後、本人名義の銀行口座へ奨学金を在学セメスター毎に振り込む。納入すべき学費に充当する方法はとらないので留意のこと。

8. 奨学金給付停止、中止および返還

（1）給付停止・再開

この奨学金の受給者が、次のいずれかに該当する場合は奨学金の給付を停止する。停止の事由がなくなったときは、給付を再開する。奨学金の給付を停止した場合でも、給付期間は停止期間を除く1年とする。

- ① 休学となったとき
- ② 研究科長が奨学金を停止することが相当であると認めたとき

（2）給付中止、受給資格取消、返還義務

奨学金の受給者が、次のいずれかに該当する場合は、奨学金の受給資格を失い、奨学金給付を中止する。この場合、給付された奨学金のうち過払い額の返還を求めることがある。

- ① 学籍を失ったとき
- ② 立命館大学学生懲戒規程による懲戒処分を受けたとき
- ③ 研究科長が奨学金の受給者としてふさわしくないと判断したとき

奨学金の過払い額の返還を求められた者は、返還を求められた日から起算して2週間以内に請求額を一括して返還しなければならない。

以 上

別表 1 (4. 申請方法関係) 大学院育英 A・B 奨学金 申請書類一覧

研究科	大学院育英 A・B 奨学金 申請書類
法学研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ③ 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー ※ 申請書類は研究科 Web ページからダウンロードしてください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/gsla/student/
経済学研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ③ 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー ※ 申請書類は研究科 Web ページからダウンロードしてください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/gsec/student/
経営学研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ③ 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー ※ 申請書類配布方法 春期募集：研究科 Web ページからダウンロードしてください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/gr/gsba/board/index.html 秋期募集：対象者に経営学部事務室にて配布します。
社会学研究科	① 大学院育英奨学金（育英 A・B）申請書【所定書式】 ② 研究成果・計画に関する報告書【所定書式】 ※報告書 P4 にある「指導教員確認欄」に指導教員の署名と押印を必ず得ること（報告書の記載内容について指導教員の下承を得ること）。 ※研究業績の記載内容に虚偽や不備等がある場合は評価の対象としない。 ③第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー ※ 申請書類は研究科 Web ページからダウンロードしてください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/gsss/student/

研究科	大学院育英 A・B 奨学金 申請書類
国際関係 研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ③ 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー ※ 申請書類は研究科 Web ページからダウンロードしてください。 http://www.ritsumei.ac.jp/gsir/student/
政策科学 研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ③ 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー ※ 申請書類は CAMPUS WEB 掲示板に掲示（添付）しますので、各自ダウンロードしてください。
文学研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ③ 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー（A4 サイズにコピーすること） ※ 申請書類は研究科 Web ページからダウンロードしてください。 http://www.ritsumei.ac.jp/gslt/student/
映像研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ※ 申請書類は履修・成績ガイダンスで配布します。
応用人間科学 研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ③ 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー（A4 サイズにコピーすること） ※ 申請書類は独立研究科事務室で配布します。
言語教育情報 研究科	① 所定の申請書 ② 第 2 セメスター終了時の成績通知表のコピー ③ 研究成果および進捗状況報告書 学術雑誌・紀要への論文掲載、学会発表を根拠とするポイント加算を希望

研究科	大学院育英 A・B 奨学金 申請書類
(続き)	する場合は、資料を添付すること。 ※ 申請書類は衣笠独立研究科事務室で配布します。
先端総合学術 研究科	① 所定の申請書 【育英-1】 ② 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー ③ 研究計画書・業績書 【育英-2】（日本学術振興会特別研究員申請書式を準用の所定様式） ・ 現在までの研究状況 ・ これからの研究計画 ・ 研究業績 ・ 自己評価 ※ 申請書類は研究科 Web ページからダウンロードしてください。 http://www.ritsumei.ac.jp/acd/gr/gsce/office/form/index.htm#moushikomi
スポーツ健康 科学研究科	① 所定の申請書 ② 研究成果・計画に関する報告書 ③ 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー（A4 サイズに縮小すること） ※ 申請書類は CAMPUS WEB で配布します。
理工学研究科	① 「大学院育英奨学金（育英 A・B）申請書」 ② 「研究経過の概要」 ※①の「申請書」の裏面に「研究経過の概要」を両面刷りでコピーし 1 枚にして提出する。 ※ 申請書類配布方法 春期募集：研究科 Web ページからダウンロードしてください。 http://www.ritsumei.ac.jp/gsse/student/ 秋期募集：対象者に電子メールにて配布します。
情報理工学 研究科	① 「大学院育英奨学金（育英 A・B）申請書」 * 指導教員の所見、署名・捺印を得たもの ※ 申請書類は研究科 Web ページからダウンロードしてください。 http://www.ritsumei.ac.jp/students/gsisestudent/

研究科	大学院育英 A・B 奨学金 申請書類
生命科学 研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ③ 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー ※ 申請書類は生命科学部事務室で配布します。また、研究科 Web ページからダウンロードもできます。 http://www.ritsumeai.ac.jp/gsls/student/
テクノロジー・ マネジメント 研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ③ 第 2 セメスター（在学セメスターのみカウント）終了時までの成績通知表のコピー ※ 申請書類は OIC 独立研究科事務室で配布します。また研究科 Web ページからダウンロードもできます。 http://www.ritsumeai.ac.jp/mot/ → 在学生の方へ
公務研究科	① 所定の申請書 ② 研究経過の概要 ※ 申請書類は研究科 Web ページからダウンロードしてください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/gspp/student/

別表 2（5．選考方法および選考基準関係）大学院育英 A・B 奨学金 選考基準一覧

研究科	大学院育英 A・B 奨学金 選考基準
法学研究科	選考は学業成績（履修単位数・GPA）と研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。 ① M1 終了時における総取得単位数が 16 単位以上の者を対象として、GPA（A+導入後の学部算定式に従う。）により順位付けを行なう。 ② 上記の者のうち、GPA が同じ値の者の間では、総取得単位数による順位付けを行なう。 ③ 上記の者のうち、GPA も総取得単位数も同じである者の間で順位付けを行なう必要がある場合には、各院生の希望進路に照らした学修の内容と到達度を総合的に勘案して順位付けを行なう。 *選考は、上記の基準に加え、研究の進捗状況を考慮し総合的に評価する。
経済学研究科	選考は学業成績（履修単位数・GPA）と研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。
経営学研究科	選考は学業成績（修得単位数・GPA）と研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。
社会学研究科	研究の進捗状況、研究業績および学業成績（GPA）にもとづく総合評価とする。 ※研究業績の評価対象には、研究ノート、翻訳および調査報告等も含む。なお、社会学研究科で主催する“International Postgraduate and Academic Conference”における発表は、他の国内外学会等における口頭発表等よりも高く評価する。
国際関係研究科	選考は学業成績（GPA・履修単位数）と研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。 その他考慮される項目 ・「M1 論文」成績評価 (インターンシップや海外留学で提出できない場合は考慮します) ・インターンシップ・海外留学参加状況 ・英語による専門科目の履修科目数および成績評価 (日本語プログラム所属者のみ)
政策科学研究科	選考は学業成績（履修単位数・GPA）と研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。 その際、研究計画の内容に加え、リサーチプロジェクトの報告も加味される。 GPA3.4 以上であることが望ましい。

研究科	大学院育英 A・B 奨学金 選考基準		
文学研究科	選考は学業成績（履修単位数・GPA）と研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。 ① GPA3.6 以上、修得単位 16 単位以上※（要修了単位のみ） ※DMDP など協定留学を行った場合の修得単位は 8 単位以上とする。 ② ①を満たす者の内から「GPA の高い者→単位数の多い者→研究の進捗状況評価の高い者」の順で選考する。		
映像研究科	選考は学業成績（履修単位数・GPA）と研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。		
応用人間科学研究科	選考は下記の 5 点について評価し、選考を行う ① 2 セメスター終了時点で 20 単位以上取得、累積 GPA ② 奨学金出願用レポート（1200 字） ③ 研究活動・社会活動 ・学会活動（口頭発表、ポスター発表、論文発表等） ・プロジェクト参加 ・自治活動（クラス会等） ・講演会ワークショップ講師 ④ ダブル領域（対人、臨床）の加点 ⑤ その他		
言語教育情報研究科	選考は学業成績（修得単位数・GPA）と研究成果および進捗状況にもとづく総合評価で行う。各項目は、それぞれ次の方法で得点化し、得点上位者から採用する。		
	選考基準	ポイント (配点)	評価方法
	GPA	50	第 2 セメスター終了時点の GPA に 10 を乗じる
	修得 単位 数	24	第 2 セメスター終了時点で修得した要卒単位数に 1.5 を乗じる。 教職一種免取得のために学部で修得した単位など、修了要件に関係しない単位は含まない。 16 単位（24 ポイント）を上限とし、それ以上は加算しない。
	研究 成果 およ び 進捗 状況	14	研究科が指定する日までに「研究中間報告・計画書」を提出し受理されることで 14 ポイントとする。
		12	学術雑誌・紀要への論文掲載 1 件につき上限 6 ポイント、 学会発表 1 件につき上限 3 ポイント この範囲で何ポイントを与えるかについては、本研究科内に奨学金委員会を設けて審査する。 12 ポイントを上限とし、それ以上は加算しない。

研究科	大学院育英 A・B 奨学金 選考基準
先端総合学術研究科	選考は学業成績（修得単位数・GPA）と研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。 第 1 セメスター・第 2 セメスターでの修得単位を 10 点（満点は 20 単位）、GPA を 20 点（最高点は 5）、研究計画・業績書を 70 点として、100 点満点で点数化する。
スポーツ健康科学研究科	第 2 セメスター終了時まで「修了に必要な単位数」を 16 単位以上修得している者の中から、研究の進捗状況と学業成績の総合評価とする。 （1）研究の進捗状況 「申請書」および「研究成果・計画の報告書」の内容、及び M1 研究中間報告会における研究報告の評価により判断する。 （2）学業成績 第 2 セメスター終了時の累積 GPA
理工学研究科	選考は学部・大学院における学業成績（履修単位数・GPA 等、ただし機械システム系は GPS）と、研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。
情報理工学研究科	選考は大学院における学業成績（履修単位数、GPA 等）と、研究の進捗状況などにもとづく総合評価で行う。
生命科学研究科	選考は学業成績（修得単位数・GPA）と研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。
テクノロジー・マネジメント研究科	原則として 1 回生時に『研究構想発表会』に参加し（ただし、ジョイント・ディグリー制度による 2 年次転入学者および前年度休学者はこの限りではない）、第 2 セメスター終了時まで「修了に必要な総修得単位数」を 16 単位以上修得した者に限定して、GPA による成績上位順に決定する。 なお、GPA が同じ値の場合は、修了に必要な総修得単位数および研究の進捗状況の総合評価で順位づけを行う。
公務研究科	選考は学業成績（修得単位数・GPA）と研究の進捗状況にもとづく総合評価で行う。

別表 3（５．選考方法および選考基準関係） 後期課程進学奨励奨学金の選考基準
（研究科博士課程後期課程の教育研究上の目的）

研究科	研究科則に定める研究科の教育研究上の目的
法学研究科	法学研究科は、法律学・政治学の研究者およびその高度な専門知識を必須とする職業分野で活躍しうる人の養成を目的とする。 法学専攻博士課程後期課程は、博士課程前期課程での研究成果を踏まえ、自らの専門領域について主体的に研究課題を定め、自らの独創的な視点で、研究計画にしたがって研究を進めるとともに、その成果を博士論文として結実させることができる自立した学術研究者等の育成を目的とする。
経済学研究科	本研究科は、経済学の高度な専門性を有する有為の人材を育成することを目的とする。 経済学専攻博士課程後期課程は、広い視野と深い専門性および優れた独創性を持ち、そして新たな領域の研究分野を自ら切り開いてゆくことができる高い研究力量を備えた研究者を養成することを目的とする。また、世界的に高まっている博士学位を有する高度専門職業人へのニーズにこたえるため、留学生を含め国際通用力の高い論理的思考力と構想力および創造性を持った人材を養成することを目的とする。
経営学研究科	本研究科は、経営学の高度な専門力量をもったビジネスパーソンおよび研究者を養成することを目的とする。 企業経営専攻博士課程後期課程は、経営学分野の研究活動を行うに必要な高度な研究能力を身につけ、将来にわたって研究活動を持続できる自立した研究者の育成を目的とする。
社会学研究科	本研究科は、現代社会が提起する諸問題を社会学と既存の学問諸分野との協同によって解明し、社会的に要請される実践的課題にこたえる研究者と専門職業人の養成を目標とする。 応用社会学専攻博士課程後期課程は、現代社会が提起する諸問題に関して、社会学を中心としつつも、社会諸科学の協同によって、先端的で多面的・学際的な理論と実証的な研究を行い、博士論文を執筆し、大学の教員や研究諸機関等の研究員として活躍できる人材を育成することを目的とする。

研究科	研究科則に定める研究科の教育研究上の目的
国際関係研究科	グローバル化する現代社会を、政治、経済、文化・社会のそれぞれの側面において、学際的な社会科学のアプローチで解明する国際関係学の研究者、および国際関係学の専門知識をそなえ、国際社会で活躍する職業人を育成すること。 国際関係学の専門知識と異文化間の媒介能力とに裏打ちされた学際的・複眼的な視点に立ち、国際社会における秩序や平和の構築、国際開発・協力の促進、多文化社会の諸課題の解決などの課題について専門家としての分析力を有する人材、また特に日本と世界とを媒介する人材を育成すること。
政策科学研究科	本研究科は、現代社会の政策課題の発見と解決を促す知識の生産および人材育成の場であることを通じて、諸学の実践的総合による社会的要請への応答を目的とする。 政策科学専攻博士課程後期課程は、現代社会の政策課題の発見と解決を促す知識の生産および人材育成の場であることを通じて、諸学の実践的総合による社会的要請に応えるという目的を達成するため、現代社会が直面する政策課題とその適切な解決策の創造に関する研究能力の育成を目指し、政策科学の研究を通じて社会の諸問題に取り組むより高い能力を身につけた研究者を輩出することを目的とする。
文学研究科	人文学専攻博士課程後期課程は、人文学の総合的な研究の場として、新たな学問(領域)を切り拓く高度な能力を有した人材を養成することで、人文学研究への社会的・現代的要請にも応えていくことを目的とする。 行動文化情報学専攻博士課程後期課程は、人文学と情報学を有機的に統合し、伝統的な人文学と実践的な情報学が探求してきた内容や方法論を修得・発展させ、その成果を共有・発信できる能力を有した人材を養成することで、人文学研究への社会的・現代的要請にも応えていくことを目的とする。
先端総合学術研究科	本研究科は、現代の諸科学分野に共有された主題群を「プロジェクト研究」によって追求することを通じて、新たな研究領域の創出を担う先端的で総合的な知の探求者、制作者としての研究者を養成することを目的とする。

研究科	研究科則に定める研究科の教育研究上の目的
スポーツ 健康科学研究科	本研究科は、スポーツ健康科学の高度な専門性に基づく理論と実践を有し、豊かな人間性とリーダーシップを備え、社会の発展に貢献する有為な人材の養成を目的とする。 スポーツ健康科学専攻博士課程後期課程は、スポーツ健康科学分野において先端の研究成果をあげ、その成果を実践に結びつけるとともに、研究プロジェクトなどにおいてリーダーシップを発揮することができる研究者の養成を目的とする。
理工学研究科	本研究科は、理工学の専門領域に関する高度な理論と技術に加え、創造的発見能力を兼ね備えた研究者、高度専門職業人を養成することを目的とする。 基礎理工学専攻博士課程後期課程は、数学または物理学の専門領域における高度な知識と創造的な研究能力を修得し、問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを備えた者の育成を目的とする。 電子システム専攻博士課程後期課程は、電気・電子工学・光工学・情報工学などの専門領域における高度な知識と創造的な研究能力を修得し、問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを備えた者の育成を目的とする。 機械システム専攻博士課程後期課程は、機械工学・ロボティクス・マイクロ機械などの専門領域における高度な知識と創造的な研究能力を修得し、問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを備えた者の育成を目的とする。 環境都市専攻博士課程後期課程は、土木工学・環境工学・建築学などの専門領域における高度な知識と創造的な研究能力を修得し、問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを備えた者の育成を目的とする。
情報理工学 研究科	本研究科は、情報学の高度な専門性を有する人材の育成を目的とする。 情報理工学専攻博士課程後期課程は、情報技術の応用、最先端の高度な理論と技術に加え、研究倫理に関する知識、創造的問題発見能力、問題分析能力、問題解決能力、研究遂行能力、コミュニケーション能力を兼ね備え、社会の重要な課題に革新的に取り組んで解決し、分野によらず国内外の第一線で活躍できる研究者、高度専門職業人を養成することを目的とする。

研究科	研究科則に定める研究科の教育研究上の目的
生命科学研究科	本研究科は、ライフサイエンスに関し、幅広い知識と高い専門性を身に付け、21 世紀における全人类的課題の解決に貢献できる人材を育成することを目的とする。 生命科学専攻博士課程後期課程は、次の各号の人材を育成することを目的とする。 (1) 自然科学および専門領域における確かな知識と研究能力を有する者。 (2) 日本語または英語による、高度な論理的文章力およびプレゼンテーション能力ならびにコミュニケーション能力を有する者。 (3) 研究者・技術者としての責任を自覚した上で、社会における問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを有する者。
薬学研究科	本研究科は、薬学の専門的知識と研究力を備え、使命感、倫理観を有する高度な薬剤師、医療人、研究者として、地域や社会に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする。
テクノロジー・マネジメント研究科	本研究科は、科学技術の価値を理解し、社会発展に寄与する知識や技能・能力を持った人材を養成することを目的とする。 テクノロジー・マネジメント専攻博士課程後期課程は、企業などにおける実践を普遍的、体系的な概念や方法論に昇華し形式知化する研究者の育成を目指す。技術者・経営者など、技術経営の実践者としての経験を学問研究の場にフィードバックし、企業などにおける実践を普遍的、体系的な概念や方法論に昇華し形式知化し、グローバルに活躍できる自由にして進取の気風に富んだ人材を育成する。

別表4（4. 申請方法関係） 立命館大学大学院 研究科の連絡先・問合せ先一覧

研究科	事務室	電話・FAX 番号	住 所
法 学 研 究 科	法学部事務室 (存心館 1 階)	電話 075-465-8175 FAX 075-465-8176	衣笠キャンパス: 〒603-8577 京都市北区 等持院北町 56-1
社 会 学 研 究 科	産業社会学部事務室 (以学館 1 階)	電話 075-465-8184 FAX 075-465-8196	
国 際 関 係 研 究 科	国際関係学部事務室 (恒心館 1 階)	電話 075-465-1211 FAX 075-465-1214	
文 学 研 究 科	文学部事務室 (清心館 1 階)	電話 075-465-8187 FAX 075-465-8188	
映 像 研 究 科	映像学部事務室 (充光館 1 階)	電話 075-465-1990 FAX 075-465-8193	
応 用 人 間 科 学 研 究 科	衣笠独立研究科事務室 (創思館 1 階)	電話 075-465-8375 FAX 075-465-8364	
言 語 教 育 情 報 研 究 科		電話 075-465-8363 FAX 075-465-8364	
先 端 総 合 学 術 研 究 科		電話 075-465-8348 FAX 075-465-8364	
経 済 学 研 究 科	経済学部事務室 (アドセミナリオ 1 階)	電話 077-561-3940 FAX 077-561-3947	びわこ・くさつキャンパス (BKC): 〒525-8577 滋賀県草津市 野路東 1-1-1
ス ポ ー ツ 健 康 科 学 研 究 科	スポーツ健康科学部事務室 (インテグレーションコア 2 階)	電話 077-561-3760 FAX 077-561-3761	
理 工 学 研 究 科	理工学部事務室 (コアステーション 1 階)	電話 077-561-2624 FAX 077-561-2629	
情 報 理 工 学 研 究 科	情報理工学部事務室 (クリエーションコア 1 階)	電話 077-561-5202 FAX 077-561-5203	
生 命 科 学 研 究 科	生命科学部事務室 (リンクスクエア 2 階)	電話 077-561-5021 FAX 077-561-3729	
薬 学 研 究 科	薬学部事務室 (サイエンスコア 1 階)	電話 077-561-2563 FAX 077-561-2564	
公 務 研 究 科	朱雀独立研究科事務室 (朱雀キャンパス 1 階)	電話 075-813-8274 FAX 075-813-8271	朱雀キャンパス: 〒604-8520 京都市中京区 西ノ京朱雀町 1
法 務 研 究 科		電話 075-813-8272 FAX 075-813-8271	
経 営 学 研 究 科	経営学部事務室 (A 棟 1 階 AC 事務室)	電話 072-665-2090 FAX 072-665-2099	大阪いばらきキャンパス (OIC): 〒567-8570 大阪府茨木市 岩倉町 2-150
政 策 科 学 研 究 科	政策科学部事務室 (A 棟 1 階 AC 事務室)	電話 072-665-2080 FAX 072-665-2089	
テ ク ノ ロ シ ー ・ マ ネ ジ ム エ ン ト 研 究 科	OIC独立研究科事務室 (A 棟 1 階 AC 事務室)	電話 072-665-2100 FAX 072-665-2109	
経 営 管 理 研 究 科		電話 072-665-2101 FAX 072-665-2109	
衣笠キャンパス (大学院課: 至徳館 2 階)		電話 075-465-8195	
びわこ・くさつキャンパス (大学院課: アドセミナリオ 1 階)		電話 077-561-4971	

窓口時間 月～金 10:00～11:30 12:30～17:00 (土曜日曜祝日と夏期冬期一斉休業期間は休業します)

※ 研究科により異なる窓口時間を設定している場合があります。